

RELEASE PAPER FOR CATAPLASM

Publication number: JP6056653

Publication date: 1994-03-01

Inventor: SHIOBARA TAKAO; YOSHIDA MITSUHIRO; ARAI YASUSHI; NONAKA JUN

Applicant: SANSEI SEIYAKU KK

Classification:

- international: A61F13/02; A61K9/70; B32B27/00; A61F13/02; A61K9/70; B32B27/00; (IPC1-7): A61K9/70

- european:

Application number: JP19920110781 19920403

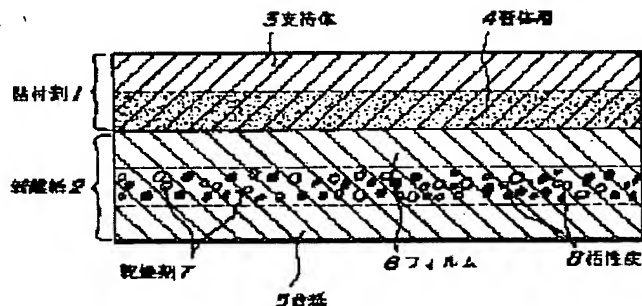
Priority number(s): JP19920110781 19920403

Report a data error here

Abstract of JP6056653

PURPOSE: To provide a release paper useful for cataplasms, etc., secured in moisture resistance, excellent in drug stability, deodorizing effect and antioxidant effect, incorporated with a desiccant, etc.

CONSTITUTION: This release paper 2 is laminated on the plaster layer 4 of a cataplasm 1 and to be peeled off the layer 4 in the use of cataplasm 1 is incorporated with at least one agent among desiccant 7, active carbon 8 and oxygen scavenger.



Data supplied from the *esp@cenet* database - Worldwide

5/7

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-56653

(43)公開日 平成6年(1994)3月1日

(51)Int.Cl.⁵

A 6 1 K 9/70

識別記号

3 0 5

庁内整理番号

7038-4C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-110781

(22)出願日 平成4年(1992)4月3日

(71)出願人 000176338

三生製薬株式会社

東京都文京区本郷3丁目5番4号

(72)発明者 塩原 孝夫

埼玉県児玉郡大字嘉美231-2

(72)発明者 吉田 光宏

埼玉県本庄市900-10

(72)発明者 荒井 康史

埼玉県本庄市西富田493-2

(72)発明者 野中 潤

埼玉県本庄市緑1丁目15番地4号

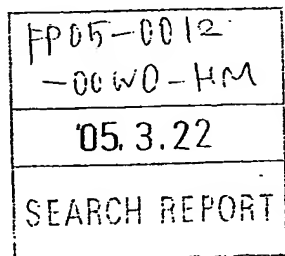
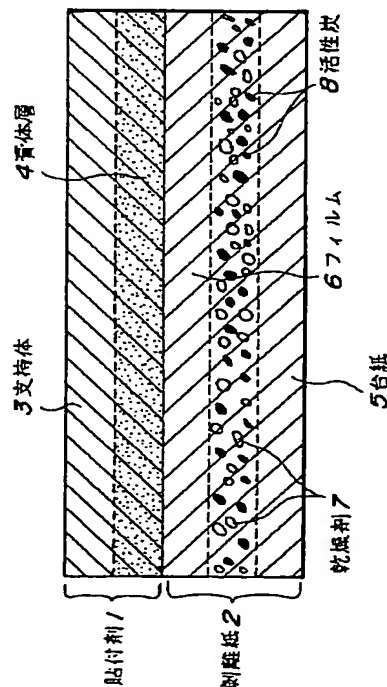
(74)代理人 弁理士 渡辺 勤 (外1名)

(54)【発明の名称】 貼付剤用剥離紙

(57)【要約】

【目的】 貼付剤の確実な防湿性を確保することによって、薬剤の製剤安定性を良くすると共に、包装形態としてもかさばることなく、製作や運搬に便利な貼付剤用の剥離紙を得る。

【構成】 剥離紙に保持した乾燥剤や活性炭、脱酸素剤などにより防湿性を確保して、薬剤の安定性の向上を図る。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 貼付剤の膏体層に貼付けられ、使用時において剥離される貼付剤用の剥離紙に、乾燥剤、活性炭、もしくは脱酸素剤の少なくとも何れか一つを保持せしめる構成とした貼付剤用剥離紙。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、例えばテープ剤に代表されるような貼付剤の膏体層に貼付けられ、使用時において剥離される貼付剤用の剥離紙に関する。

【0002】

【従来の技術】 テープ剤、パップ剤、プラスターなどの貼付剤は、経口投与に比して、薬物の肝臓での代謝による分離を防ぐことができる点や、胃腸障害を起こしにくい点、あるいは長時間の効果を期待できる点などにおいて有利である。従って、貼付剤に広い範囲の薬剤が利用されつつあるが、多くの薬剤は水分の存在で不安定である場合が多い。そこで、最近では上記の貼付剤の利点を活用すべく、水分に不安定な薬剤を含有する貼付剤の安定性を確保するために、アルミ袋等に貼付剤と共に乾燥剤

10

水透過性のある台紙5と剥離性のあるフィルム6との間に乾燥剤7と活性炭8を合成のり等の粘着剤を用いて封入してサンドイッチ状に構成したものである。剥離性のあるフィルム6は、通常剥離紙として用いられている全ての材質が使用でき、例えば、紙、グラシン紙、織布、不織布などの他、ポリエチレン（PE）、ポリエチレンテレフタレート（PET）などのプラスチックフィルム、硬質ゴム、或はアルミニウムなどの剥離性のあるフィルムなどを使用する。特に、膏体層4に接する側の面にシリコンコート

20

を施してあると、剥離性が良く、好都合である。台紙5は、例えば、紙、グラシン紙、織布、不織布などの他、ポリエチレン（PE）、ポリエチレンテレフタレート（PET）などのプラスチックフィルム等の水透過性のある包材が使用される。また、乾燥剤7には、例えばシリカゲルや塩化カルシウム、シリカアルミナゲルなどを粉粒状や薄い板状にしたものを用いることができる。

30

【0007】 図2は、紙、織布、不織布などからなるフィルム6に乾燥剤7を直接含ませしめるか、或はその繊維の隙間に封入せしめると共に、フィルム6の膏体層4に接する側の面にシリコンコート9を施した剥離紙2の実施例を示している。図3は、ポリエチレン（PE）、ポリエチレンテレフタレート（PET）などのプラスチックフィルム、硬質ゴム、或はバルブなどからなるフィルム6に乾燥剤7を封入せしめ、フィルム6の膏体層4に接する側の面にシリコンコート9を施した剥離紙2の実施例を示している。図4は、アルミニウムフィルム10の膏体層4に接する側の面にシリコンコート9を施すと共に、その反対の面にポリエチレン等に練り込ませた乾燥剤7や活性炭8をコーティング（塗布）した剥離紙2の実施例を示している。そして、以上のような乾燥剤7や活性炭8の代わりに、或はこれらと一緒に、例えば活性酸化鉄等の脱酸素剤を用いることもできる。何れにしても、乾燥剤、活性炭、もしくは脱酸素剤の何れか一つ、或は任意の組合せで混合、併用して封入したり、含浸、塗布することにより、それらを剥離紙2に保持せしめたものである。

40

【0009】

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、このように乾燥剤と一緒に封入する方法では、防湿性が充分でない場合が多く、薬剤の安定性の維持が確実でない。また、乾燥剤と一緒に封入するのでは包装形態としてもかさばるなど運搬上好ましくなく、また、いちいち乾燥剤を投入するために製作工程も繁雑になるという欠点が生じていた。そして、脱臭剤や脱酸素剤などについても、乾燥剤と同様の課題があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】 従って、本発明は貼付剤の確実な防湿性や、防臭性、酸化防止効果を確保することによって、水に不安定な薬剤の安定性を確実にすることはもとより、薬剤の分解を低減させて品質維持を図ると共に、包装形態としてもかさばることなく、製作や運搬に便利な貼付剤用の剥離紙を得ることを目的とする。かかる目的を達成するために、貼付剤用の剥離紙に乾燥剤、活性炭、もしくは脱酸素剤の少なくとも何れか一つを保持せしめるように構成した。

【0005】

【作用】 剥離紙に保持した乾燥剤等により防湿性、防臭性、酸化防止性を確保して、製薬剤の安定性を確保する。

【0006】

【実施例】 以下、本発明の実施例について説明する。図1に示されるように、貼付剤1に剥離紙2が貼付けてある。貼付剤1は、例えば布や不織布等の適当な支持体3の内面に膏体層4を形成した構成である。膏体層4は基剤、粘着剤等の薬剤や膏体を含んでいる。剥離紙2は、

50

【発明の効果】本発明によれば、乾燥剤を剥離紙に保持させることにより、薬剤の安定性の向上を図ることができる。そして、包装形態としてもかさばることなく、小型包装が可能となるので、製作や運搬に極めて便利である。また、乾燥剤の他に活性炭や脱酸素剤を剥離紙に保持させると、脱臭効果酸化防止効果も図ることができる。更に、乾燥剤に活性炭或は脱酸素剤を組み合わせて保持せしめると、薬剤の分解を一層低減することができる。製剤安定性を高めるといった利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】剥離紙を貼付けた貼付剤の断面図

【図2】他の実施例の貼付剤の断面図

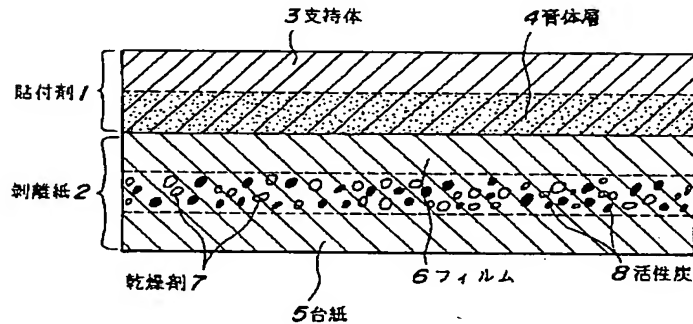
【図3】他の実施例の貼付剤の断面図

【図4】他の実施例の貼付剤の断面図

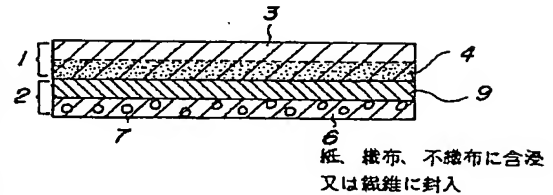
【符号の説明】

- | | |
|----|------------|
| 1 | 貼付剤 |
| 2 | 剥離紙 |
| 3 | 支持体 |
| 4 | 膏体層 |
| 5 | 台紙 |
| 6 | フィルム |
| 7 | 乾燥剤 |
| 10 | 8 活性炭 |
| 9 | シリコンコート |
| 10 | アルミニウムフィルム |

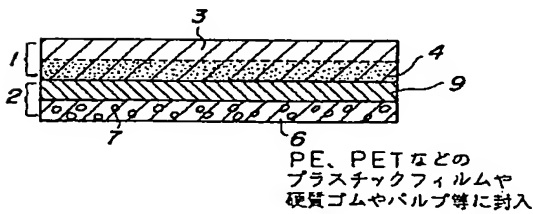
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

